



# ゴロスケ報々



## 友の会行事のお知らせ

### ●森の交流会(望年会)●

昨年同様、友の会会員を対象にした望年会を実施します。日頃なかなか森に来られない方も、この機会にぜひどうぞお越しください。

日 時 12月23日(日) 9時30分～14時00分 ※雨天実施

集合場所 ごろすけ館前(スタッフは9時集合)

対 象 友の会会員

持ち物 お弁当、お椀、お箸、飲み物、コップ、ビニール袋、軍手

実施内容

- ・ゴミ拾いハイカー1年間の感謝の気持ちを込め、園内のゴミ拾いをします。
- ・餅つき大会&豚汁ー自分でついたお餅と、美味しい豚汁を食べながらボランティア仲間との交流の輪を広げましょう。
- ・その他

参加受付 当日、ごろすけ館前で

担当：事務局

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

# 事務局からのお知らせ

## ●11月定例会報告●

H24. 11. 18 (日) 13:00~15:00

出席者 山口、中里、片岡(議長)、青木、村松、落合、漆原、篠原、大越、高橋、志益、  
関根(書記)、大浦、藤田、森R

1. 行事、各PJとグループの活動報告、活動予定の確認をしました。
2. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
3. 事務局より
  - ・森の交流会(望年会)の役割分担とスケジュールの確認をおこないました。
  - ・ZFCにお願いをしていたごろすけ館の看板が完成、設置しました。  
とても素晴らしい物ができあがりました。ロゴのデザインをされた小宮山さん、作成をされたZFCの皆さん、ありがとうございました。なおロゴデザインはjpegファイルを定例会メンバーに配布し、ポスター等に活用していくことになりました。
  - ・ごろすけ館ルームの常設展示を考えていきます。
  - ・各PJ、グループの2013年度計画を1月10日ごろまでに提出をお願いします。  
今後連絡をしますので、よろしくお願いします。
4. センターより
  - ・森の家の駐車場(BBQ広場)が完成しました。利用は来年度4月からの予定です。
  - ・アキアカネの丘(下)の草刈りを実施します。

次回の定例会は1月20日(日)13:00~ センター研修室  
また定例会終了後(15:00)管理保全計画検討会があります。  
どちらも友の会会員どなたでも参加できます。

ふむふむ

### ピクニック広場の下には・・・

何でもいいから書いてくれと言われてちょっと困っています。お題をいただいた方が私としては書きやすいのですが・・・「バードウォッチングが趣味です。」と公言している以上、鳥の事を書くのが順当かもしれませんが、しかし、「はばたき」(野鳥の会神奈川支部の支部報)によく書いているので、ちょっと芸がなさすぎかなあ??と言って、友の会で担当している会計のことと言っても書くことが思いつきません。そこで、皆さんあまり興味なくて面白くないかもしれませんが、私がしている仕事に関係ある話でもして、お茶を濁すことにします。ご存じない方とも多いかと思いますが、ZFCの炭焼き小屋の前の道路を挟んで反対側のピクニック広場の下には大きな池(貯水槽と言った方がイメージに合いますか?しかし、水を溜めて滞留しているわけではありません。常時入れ替わっています。私どもでは調整池と呼んでいます。)があります。この池の容量は30,000m<sup>3</sup>(25mプールで55個分といえばイメージがしやすいでしょうか?)で、中身は水道水です。この水道水は、綾瀬市にある浄水場で作っており、その元になる水は、相模川から取水した河川水です。水道水は、浄水場から観察の森までは約23kmの旅をし、観察の森から金沢区や港南区等のご家庭に配られ、さらに横須賀方面へ送られます。

現在、保全管理計画の話が進んでいますが、ピクニック広場は草地です。森や湿地になることはないと思います。地下にはコンクリート構造物があり、上を覆う土壌は1mもないのでそんなに大きな木は育たないでしょうし、また上に水がたまることはありません。もし、森になってしまうと根がコンクリートを侵食し、池の機能が失われてしまうのも心配ですし、雨漏りでもしたら大変です。何と言っても多くの方の飲用する水が入っているわけですからね。雨漏りするとどうして飲用に影響するかついては、飲用に適した水とはどういうものかについて話をする必要があるので、別の機会に譲ります。と言っても別の機会の予定はありません。

最後にお願いですが、あんまりピクニック広場の下が水道施設だと公言しないで下さいね。秘密なわけではありませんが、いろいろ物騒な世の中であって、安全、安心の面からどちらかという人には知られたくない情報なものですから。

By Minoru Aoki

## ●11月理事会報告●

日時 2012年11月18日(日) 9:30~11:40

出席者 青木、漆原、大越、落合、片岡、篠原、志釜、関根、中里、村松、山口、森 R  
(文書参加:秋元)(欠席:大浦、小杉、中塚、藤田)

- 1 理事及び監事交代
  - ・プロジェクトマネージャー及び理事の途中交代の申し出があり、了承されました。  
カワセミファンクラブ 平野貞雄さん → 大浦晴壽さん  
雑木林ファンクラブ 江崎章さん → 大越哲朗さん
  - ・これに伴い監事は大越哲朗さんの後任に橋詰齊さんが推薦され了承されました。
- 2 中間報告
  - ・事業及び会計について中間報告がありました。
- 3 次期中期計画
  - ・現行計画(2010-12)をふまえ次期計画(2013-15)案を検討しました。  
(ごろすけ館を活用した情報発信(各PJの活動展示や季節展示)など)
- 4 次年度事業方針
  - ・主要な行事の日程等を確認しました。
- 5 安全管理
  - ・事故事件等なし。
- 6 その他
  - ・ZFC次年度行事について(センター確認)
  - ・印刷機処分について
  - ・会報PDF配信について

### <次回理事会>

日時 1月20日(日) 9:30~12:00

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 中期計画・次年度計画
  - 2 定期総会準備
  - 3 利用推進会議(後期)
  - 4 安全管理
  - 5 その他



## ●新サービス ゴロスケ報々のPDF配信について●

メールやインターネットの普及に伴い、ゴロ報を電子データで読みたいというご要望が増えてきました。

紙に比べて、かさばらず、保存や検索に便利で、資源の節約にもなる、という利点があります。

理事会で検討した結果、これまでどおり紙媒体で郵送することを基本としますが、希望者についてはPDFデータでの提供を選択することができるよう準備していくことになりました。

2月のゴロ報に同封する会費振込用紙にチェック欄を設ける予定ですので、紙から電子データ(PDFファイル)への切り替えをご希望の方はチェックをお願いします。

配信方法については、希望者数にもよりますが、いくつかの候補の中から検討中ですので、後日決定しお知らせします。

# 友の会活動報告

## ●特別講座「子どもたちと森で遊ぶ方法、教えます」報告●

森の案内人・ハンミョウの会担当

11月17日（土）10時～13時

講師 山田陽治さん

受講者 6名

実演モデルの子どもたち10名とその保護者

地元の侍従川の活動からスタートし、今やNHKEテレの「モリゾー・キッコロ森へ行こうよ（通称モリコロ）」ですっかり有名になった山田陽治さんを迎えて、子どもたちと自然に親しむ方法を聞いてみようという企画でした。

講演のような方法は苦手、という山田さんの意向もあって、前半は、ガイドウォークの常連の子どもたちに来てもらい、「森の宝ものをさがそう！」という設定で山田さんと森を歩いてもらって、受講者はそれをサポートしながら見学。センターに戻ってから、自分だけの宝ものを画用紙に描いてもらってふりかえり。

その後の撮影会とサイン会を挟んで、後半は、山田さんと約1時間、お弁当を食べながら質問をぶつけると言う形で実施しました。

子どもたちとの活動では、ミクロハイク、においのする葉っぱ探し、草笛、アオキの実とばしなど。特にアオキの実とばしには子どもたちも夢中になりました。

懇談ではいろいろな質問をぶつけましたが、山田さんがご自身のブログにこの行事の報告を掲載されたので、以下、それを引用させていただきます。

○設定…子どもたちが取り組むねらいやテーマを、明確にかつワクワクするような設定にし、子どもたちに伝える。

○コミュニケーション…一人一人とコミュニケーションをとりつつ相手のレベルや嗜好、思考レベルを探る。かつ、こちらの言葉が入るように打ち解けるようにする。

○目線…小さな子には目線を合わせる為しゃがんだり（時には子どもより低い目線から）、大勢を相手にする時は子どもたちを座らせて上から目線(笑)で話す。

その時は、なるべく一人一人の顔を見ながら話す。

○間やリズム…話にも必要だし、全体の流れでも必要。子どもたちの前で挙手を求める時、こちらは急に手を挙げ求めたり、急な動きが効果的だったり。

子どもからの発言は内容より、発言時間の長さなど全体のリズムに支障がないかを重視。

アクティビティや発見したものの説明も、間やリズムを大切にするため、時間をズラして行う。

○子どもの主体的な動きを大切にする…こちらが用意したもの、発見したものの説明より、子ども自身の発見や子ども自身が動くことが、子どもの満足。

しいては心に残るかどうかだと思う。

○子どもの顔色を伺う…子どもたちがつまらないかどうかは、顔や雰囲気で行く。ボクは心が弱いので(笑)つまらないと思うものをやらせることには耐えられないので、子どもの思う方向に添う形もある。場合によっては振り返りをなくしたり。

降水確率80%の天候でしたが、子どもたちと外を歩いている1時間ほどだけ雨が小降りになってくれました。

受講者が少なかったのが残念でしたが、山田さんを見ながら、センスオブワンダーの「子どもたちのセンスオブワンダーを新鮮に保つには子どもと一緒に感動を再発見しわかちあってくれる大人が一人そばにいる必要があります」という趣旨のフレーズを思い出すひと時でした。

（中塚）

## ●<定例活動の報告> 森の案内人・ハンミョウの会 ●===== 友の会活動報告

ガイドウォーク「季節の森を歩こう」

11月4日「秋を感じる森」 参加者：1回目8人、2回目21人、スタッフ：2人

久しぶりに暑いぐらいの快晴の中、参加者に秋のイメージを聞いてからのスタートです。

「紅葉」「木の実」「食べ物が美味しい」など。

まずはセンター前のケヤキにじっとしているハラビロカマキリとご対面。

日当たりのいい場所で何時間もとどまり、午後にはエサを捕食していました。

生き物探しでは、樹上でハラビロカマキリやその卵鞘が次々と見つかると秋を感じます。

ハイケの湿地はこの時期は何もないかな、と思っていると、細くて青い金属光沢をもったオオアオイトンボが出迎えてくれました。

7月にこの池で出会った羽化したばかりのトンボが、夏は森の中で過ごして秋に戻ってきてくれたのでしょう。

以前はまだ白っぽかった体色も、見事に成熟して綺麗な輝きを見せてくれました。

水辺と森がつながる自然で暮らす昆虫ですね。

最後は、黄色や赤色の落ち葉を拾いながらセンターに向かいました。

葉っぱを黄色から赤色まで並べてみるとオレンジ色もあり、綺麗なグラデーションです。

そして「緑」「黄」「赤」のセロファンを使って紅葉を感じてもらった観察会でした。

(池田)

## ●森のボランティアまつり 報告 ●=====

10月21日(日)

参加者10名 スタッフ 25名

とても良い天気でした。

紙芝居のあと、畑へ移動。サツマイモ、里芋などの収穫では、大人も子どもも、夢中になって土を掘りおこしていました。

その後は各PJの体験。最後にごろすけ館の前で、畑で収穫した作物の抽選会。

今年の畑は、とってもできが良かったようです。

村松副会長から、しめの挨拶があり、無事お開きとなりました。

参加者が少なかったのが残念でしたが、皆さん楽しんでいただけたと思います。

事務局 中里

## 友の会行事のお知らせ

### ●本郷台駅前写真展「森のいきものたち：調査用カメラがとらえた動物たちの姿」●=====

日時：2月4日(月)～17日(日) (初日は16時頃～)

場所：栄区本郷台駅前駐輪場

より多くの方々に、自分たちの身近にいろんな動物たちがいることを知っていただくために、ごろすけ館で夏休みから開催していた「定点カメラで動物調査」の写真展を、園外でも開催します！

森の中に設置した調査用のカメラがとらえた、動物、鳥、そして不思議なものたちの素の姿の写真展です。特にほ乳類は夜行性が多く、また、用心深いため、タイワンリス以外の姿を私たちが見る機会は少ないですが、なかなか目にすることのできない動物たちの姿・生態を、ぜひのぞきにきてください。

新作も加わります！

お近くの方、ぜひ、お立ち寄りください。

事務局内調査グループ「定点カメラで動物調査」

\*活動日は、5～12月の午前中です。

## 観察センターのとりくみ

**いきものを知る守るシリーズ～野鳥博士になろう** を実施しました。

小学生とその保護者を対象に、調査体験&伝える環境教育を組み合わせ体験していただくイベントです。

12月2日(日)に鳥の古巣を調べる調査体験を行いました。古巣は「ハンモック型」「皿型」「お椀型」「木の穴」「ボール型」「その他」に分けて、どの形の巣がどこに何個あるのかをカウントし記録していきます。調べた結果、両コースにて一番多く見つかった古巣は「ボール型」のタイワンリスの巣でした。

その後、森で見つけた古巣3種類(ウグイス・メジロ・シジュウカラが利用した巣箱)の巣を、もっと良く見てみるために、分解する体験をしました。

素材はそれぞれ巣により異なり、グループごとに模造紙にまとめて発表してもらい、使われている巣材の多様さを全員で共有しました。

参加者からは「巣に触れたことが嬉しかった」や「色々なものが使われているのがわかった」などの感想をもらい、身近な野鳥や自然に目を向けるためのきっかけになりました。

引き続き1月には「実践編」があり、調査結果の発表や巣箱かけなどの体験を通し、野鳥を取り巻く環境について、考えていただきます。



ボール状のタイワンリスの巣

## 観察センターからのお知らせ

### オススメ講座

#### 生きもの講演会 ～身近な森を野鳥の視点で見よう～

身近な森林で野鳥を調べ、記録し、保全活動に役立てていく方法を、専門家から座学と実習で学びます。

日時：2013年2月2日(日)  
10:00～15:00(雨天決行)

講師：秋山幸也さん  
(相模原市立博物館学芸員)

対象：中学生以上の野鳥の調査に興味のある方。40人。

申込：下記必要事項を明記の上、FAX・E-mail・往復はがきのいずれかで1月29日(必着)で自然観察センターへ。

①イベント名と日時 ②参加者全員の名前  
(学生の方は学年)

③電話番号 ④あればFAX番号

⑤何を見てイベントを知ったか

**みなさまのご参加お待ちしております!**

### 年末年始のごあいさつ

今年も大変お世話になりました。恒例となりましたレンジャーの1年をふりかえった漢字一文字をご紹介します。き、年末のご挨拶とさせていただきます。

- 古南「復」 念願の現場復帰! 皆さんとご一緒させて頂くことになった嬉しい年でした。
- 森「変」 センターも新しくなり、メンバーも代わりフレッシュに?
- 赤星「喜」 憧れの野鳥の会レンジャーとして横浜で働けるようになりました。
- 瀧本「積」 色々な経験を積むことができ、良い意味で学ぶべきことが山積み。
- 奥野「恵」 周囲の人に恵まれた一年でした。多謝。
- 齋藤「進」 自分の目標に向かい前進できました。

新しい年も、ご支援のほど何卒よろしくお願い致します。(古南 幸弘)



## 今年の冬鳥 新着情報!

11月以降、ロシアや中国など日本より北の寒い国から、冬をすごすために冬鳥たちが日本に渡ってきます。

横浜自然観察の森で見ることができる冬鳥たちの初認日（今年観察の森での初記録日）をお知らせします。

シロハラ：10月10日  
アカハラ：10月11日  
シメ：10月14日  
マヒワ：10月14日  
ジョウビタキ：10月25日  
クロジ：10月27日  
アオジ：10月28日  
ツグミ：10月31日  
ウソ：11月3日  
ルリビタキ：11月16日



ウソ

冬鳥をテーマにした「冬の鳥物語」も展示中！見に来てね

1/13（日）のバードウォッチングに参加して、冬鳥たちに会いに行きませんか？

3施設スタンプラリー  
よこはま南の森スタンプラリーも  
同時開催中！



ホランディアさん ありがとう

\*\*\* 10/13～12/2の間\*\*\*

- 10/27 自然とあそぼう 村松古明さん ヨコハマbフェスティバル現地中継のご協力
- 10/27 自然とあそぼうのみなさま 展示物貸し出しのご協力
- 11/10 友の会のみなさま 保全管理計画見学会への参加
- 11/11 鳥の暮らし発見隊のみなさま 「にぎわいの森を歩くバードウォッチング」へのご協力
- 11/18 友の会のみなさま 保全管理計画検討会への参加
- 11/24 自然とあそぼうのみなさま 展示物貸し出しのご協力
- 12/1 雑木林ファンクラブのみなさま まきストーブ用の薪の提供
- 12/2 漆原弘光さん いきものを知る守るシリーズサポート
- 10-11月 野草の調査と保護グループのみなさま 草刈・外来種伐採に伴う植物の確認
- 10-11月 カワセミファンクラブのみなさま 野鳥及び昆虫写真の提供
- 10-11月 藤田剛さん・藤田薫さん・篠原由紀子さん・平野貞雄さん・佐々木祥仁さん  
保全管理計画ヒアリングに伴うご協力

作成：もり はつえ

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

～いきもののにぎわいのある森ブログも掲載中～

# 行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●季節行事●

●森の交流会（望年会） →1ページ参照  
12/23（日） 9:30～14:00  
集合：ごろすけ館前（スタッフは9時集合）  
対象：友の会会員  
持ち物：お弁当、お椀、お箸、飲み物、コップ、ビニール袋、軍手  
受付：当日、ごろすけ館前で 担当：事務局

●本郷台駅前写真展「森のいきものたち：調査用カメラがとらえた動物たちの姿」  
→5ページ参照  
2/4（月）～2/17（日）  
場所：栄区本郷台駅前駐輪場  
内容：より多くの方々に、自分たちの身近にいろいろな動物たちがいることを知っていただくために、ごろすけ館で夏休みから開催していた「定点カメラで動物調査」の写真展を、園外でも開催します！  
担当：事務局内調査グループ「定点カメラで動物調査」

■にぎわいの森を歩くバードウォッチング  
日時：1月13日（日）9:00～13:00  
雨天決行（室内でのお話になります）。  
対象：どなたでも！初心者歓迎  
内容：秋に見られる野鳥を日本野鳥の会神奈川支部リーダーがご案内。初心者・家族づれでも楽しめます。  
申込み：なし（当日直接センターへ）  
持ち物：お弁当・飲み物・あれば双眼鏡と図鑑（貸し出し可。ただし数に限りがあります。）  
担当：自然観察センター

■生きもの講演会～身近な森を野鳥の視点で見よう  
日時：2月2日（土）10:00～15:00  
雨天決行  
対象：中学生以上 40名  
内容：身近な森林で野鳥を調べ、記録し、保全活動に役立てていく方法を、座学と実習で学びます。  
講師：秋山幸也さん（相模原市立博物館学芸員）  
申込み：以下項目を明記の上、E-Mail、fax、または直接 1月29日までに申し込みにください。①イベント名と日程②参加者全員の名前（学生の場合は学年）③電話番号④ある場合はFAX番号とMailアドレス  
担当：自然観察センター

## ●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜  
～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～  
2/17（日）9:30～12:30  
受付：直接、自然観察センターの研修室へ  
対象：どなたでも 雨天催行  
＊会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう（園内の自然案内）  
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
1/6（日）・2/3（日）  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：どなたでも  
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）  
～のんびり楽しむバードウォッチング～  
2/10（日）  
9:00～13:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう  
～自然をテーマにした絵本づくり～  
1/16（水）・2/20（水）  
10:00～12:00 絵本製作  
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう（園内の自然案内）  
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
1/26（土）・2/23（日）  
1回目 13:00～ 2回目 14:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：子どもから大人までどなたでも  
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2012年12月16日  
発行 〒247-0013  
横浜市栄区上郷町 1562-1  
横浜自然観察の森友の会  
電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892  
郵便振替 00240-1-59172  
年会費 大人 2000円 小中学生 600円  
[http://www.geocities.jp/yms\\_tomo/](http://www.geocities.jp/yms_tomo/)  
E-mail: yms\_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】 《全頁無断転載を禁じます》  
次回：定例会1/20（日）、原稿締切1/26（土）、発送2/17（日）（発送担当：ハンミョウの会）